

データ名	内容	データの活用例	集録データ
各種区域	市町が計画的な街づくりを進める区域や無秩序な開発等を規制する区域	都市計画情報の可視化	行政区域/都市計画区域/ 市街化区域/市街化調整区域/ 用途地域/非線引き用途地域/ 非線引き用途白地/ 居住誘導区域/都市機能誘導区域
人口規模	性別及び年齢階級（5歳）人口を把握	人口分布や割合の把握	性別/5歳階級別の人口/総人口 等
DID	人口集中地区における面積や人口を把握	都市の傾向の把握	面積/人口 等
土地利用現況	住居商業用地などの土地利用状況を把握	都市構造の可視化	田/畑/山林/水面/耕作放棄地/ その他自然処/住居用地/商業用地/ 工業用地/農林漁業施設用地/ 公益施設用地/道路用地/交通施設用地 等
市街地 開発事業等	市街地再開発事業や土地区画整理事業等の状況を把握	開発動向の可視化	市街地再開発事業/住宅地区改良事業/ 土地区画整理事業/新住宅市街地再開発事業/ 工業団地造成事業 等
開発許可 による開発	建物用途別の開発許可状況を把握	開発動向の可視化	住宅用地/商業用地/工業用地/農林漁業用地/ 公共施設用地 等
農業振興地域	長期にわたり農業上の利用を確保すべき区域	農村活性化（地域活性化）の取組の検討	区域区分コード/面積/ 立地適正化計画区域コード 等
農用地区域	農業上の利用を図るべき土地の区域	農地の現況把握と活用検討	区域区分コード/面積/ 立地適正化計画区域コード 等
新築動向	新築建物の立地状況を把握	開発動向の可視化	区域区分コード/主要用途コード/主要用途区分/ 開発主体コード/立地適正化区域コード 等
農林漁業 関係施策	農林漁業に関する施策の適用状況を把握	地域資源となる農林漁業の把握	区域区分コード/地区名/ 立地適正化計画区域コード 等
建物利用現況	住宅店舗などの建物の利用状況を把握	都市構造の可視化	業務施設/商業施設/宿泊施設/ 商業系用途複合施設/住宅/共同住宅/ 店舗等併用住宅/店舗等併用共同住宅/ 作業所共用住宅/官公庁施設/文教厚生施設/ 運輸倉庫施設/工場 等

Visualization & Analysis

都市計画基礎調査のオープンデータを活用した 地域データの可視化と分析



◎データは、json (*.geojson) Shape (*.shp *.shx *.dbf) Kmz (*.kmz) のファイル形式を提供しています。

◎都市計画基礎調査は、県内の都市計画区域を有する20市町※を対象として実施しています。

※ 大竹市、廿日市市、広島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、呉市、三原市、尾道市、福山市、府中市、東広島市、竹原市、三次市、庄原市、江田島市、北広島町、安芸高田市、世羅町

▶ 広島県が整備している
データの公開サイト
DoboXのQRコード



お問い合わせ

広島県土木建築局 都市計画課地域計画グループ

☎ 082-513-4117（直通）

✉ dokeikaku@pref.hiroshima.lg.jp

作成年月：2024年 3月

広島県 都市計画課



オープンデータサイト

DoboX 土木×DX = ドボックス



デジタル技術を最大限に活用して官民が連携し、県民の安全・安心などを旨として構築されたシステム基盤で、公共土木施設等に関するあらゆる情報（都市計画基礎調査情報等）を一元化・オープンデータ化しています。

Retrieval method データカタログの検索方法

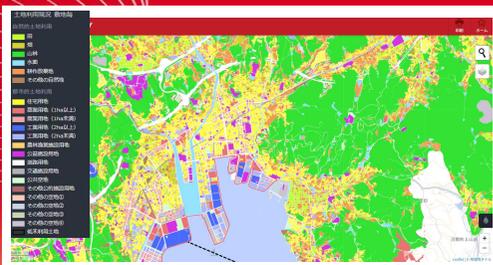
キーワード検索や条件を指定して必要な情報を検索することができます。
都市計画基礎調査のデータは、キーワード検索で「A市 基礎調査」と入力すると、公開しているデータが表示できます。

Visualizations データから見えるもの

DoboXで可視化されたデータを確認できるほか、GIS※で表示できるシェープファイル※などのデータをダウンロードでき、知りたい内容に合わせた分析や表示ができます。

DoboXで可視化してみよう

ひろしま2Dマップ



↑ひろしま2Dマップ「土地利用現況 敷地毎」を表示

都市計画基礎調査データの可視化

土地や建物の利用用途（住宅、工場等）を地図上で可視化しています。

活用例 転居先の地域を知る

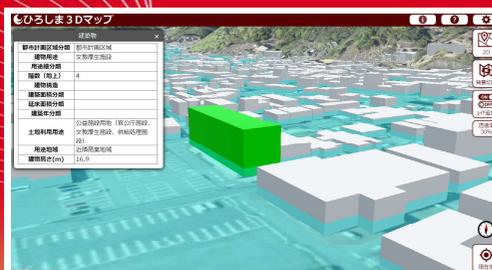
転居先の周辺に、商業用地や工業用地など、どのようなものが周辺にあるのかを知ることができます。

また、転居先の周辺の災害リスクや避難所などの位置も確認することができます。



↑転居先の検討イメージ

ひろしま3Dマップ



↑ひろしま3Dマップ「洪水浸水想定区域・建築物」を表示

「災害リスク×建物」データの3次元化

地図上で浸水が想定される区域等の災害のおそれのある区域を3次元化し「災害リスク」と「建物」を重ね合わせ、自宅、勤務先などの、災害のおそれのある範囲を可視化しています。

活用例 垂直避難可能な建物を知る

自宅や勤務先などを地図上に表示し、建物をクリックすると（左図：緑表示）、建物用途や高さなどの情報を知ることができます。また、浸水が想定される区域を確認し、建物が浸水するようであれば、周辺に高い建物がないか確認するなど、緊急時に一次的に垂直避難する場所を確認することができます。

詳しくデータ分析してみよう

STEP 1 データダウンロード

分析したい市町のデータをダウンロードします。



STEP 2 データ可視化・分析

ダウンロードしたデータをGISで地図上に重ね合わせ、分析したい内容に合わせて、データの色分け表示や、集計をします。



分析例① 新規店舗適地選定分析

分析の目的

出店予定の地域は決定しているが、候補地が3カ所あります。
より多くの集客が見込める適地を選定したい。

分析方法の決定

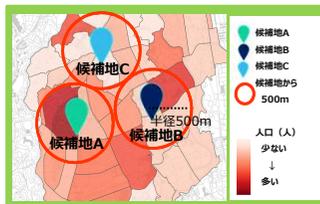
出店候補地3カ所それぞれの500メートル範囲内の地域に、店舗のターゲットとなる20代～40代女性の人口（人口規模データ）を分析する。

データ作成・収集

使用ソフト：GIS
作成データ：候補地3カ所のポイントデータ
候補地3カ所から500メートル範囲ポリゴンデータ
収集データ：「人口規模」データ ※性別及び年齢階級（5歳）人口

分析

GISの計算機能を活用し、ターゲット人口を算出します。算出結果を、人口に合わせて色分け表示します。人口を把握するためには、GISのデータ抽出機能により候補地3カ所の500メートル範囲に重なる地区のデータを抽出します。次に、GISの集計機能や表計算ソフトで集計します。



地域特性に応じた、より多くの集客が見込める候補地選定が行えます！

分析例② 広告の配布地域分析

分析の目的

リフォーム展示会を開催します。成約につながりやすい集客が見込めるよう、効果的な地区に案内広告を配布したい。

分析方法の決定

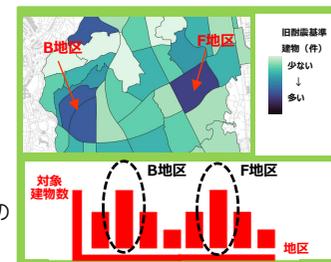
展示会を開催する市町の地区毎に、住宅用途の建築年から旧耐震基準（昭和56年以前建物）の建物数（建物利用現況データ）を分析。

データ作成・収集

使用ソフト：GIS
収集データ：「建物利用現況 町丁目単位」データ

分析

GISの計算機能を活用し、旧耐震基準建物数を算出します。算出結果を、建物数に合わせて色分け表示します。GISの属性情報を表計算ソフトで表示させ、地区毎のグラフや表を作成します。



必要な情報を必要な人に広告することができます！

※ GIS(地理情報システム)とは、位置情報を持つデータを作成、管理、表示などができるシステムです。GISソフトウェアは、有償のものから無償で利用できるオープンソースのものまで様々あります。
※シェープファイルとは、ESRI社の提唱したファイル形式で、多くのGISソフトウェアがサポートしているファイルです。